

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第3回 若松小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 5年 9月 15日 (金) 16:00 ~ 17:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ (委員長, 学校長)

(委員長)

- ・まだまだ暑さが厳しい。みなさん気を付けてください。本日の協議, よろしくをお願いします。

(学校長)

- ・10月の研究発表会に向けて, 職員一同頑張っている。コロナ, インフルエンザについては患者が少し出ているが, 蔓延している状況ではない。

4 協議内容

(学校長より)

(1) 家庭学習・読書の取り組み, 全国学力・学習状況調査について

- ・毎日10分以上の読書の取り組みが63%となっている。読書は学力と直結するもので, 今後特に力を入れていきたい。
- ・全国学力・学習状況調査については, 昨年度の結果より上回ったが, 読み解く力や, 書く力を伸ばすため, 朝の学習での取り組みで基礎学力や読解力の向上を図りたい。

(2) 夏休みラジオ体操について

- ・すべての地区で実施していただいた。児童の人数が減っている地区や, 参加率に課題が残る地区もあるが, 合同開催をするなど地区委員さんを中心に工夫していただいている。地域の方にも, 子どもの健全育成にご協力いただき, 大変ありがたい。

(3) クリーンスクールについて

- ・大変暑かったが, PTA 役員の皆様には熱中症予防をしっかりといただいた。保護者や地域の皆様のお力のおかげで, 大変きれいにいただき, ありがとうございました。

(4) 鈴鹿市教育研究会委託校 研究発表会について

- ・全学級で授業公開をするため, 駐車場整理等に人員が不足している。PTA 役員さんにもお世話になる予定であるが, できれば地域の方のご協力をぜひともお願いしたい。

(地域づくり協議会より)

(5) ふれあいフェスタ若松について

- ・今年度は多くの出演団体が参加して、800人程度の参加を見込んでいる。(昨年度700人) 通常開催の予定。

(6) 次期鈴鹿市教育大綱及び鈴鹿市教育振興基本計画に係る意見聴取について

- ・基本理念や目標は、その意図やねらいを聞けば理解できるが、誰もがわかりやすく、市民や保護者に溶け込む語句を使う方がよい。
- ・中学校部活動の地域移行は本当にできるのか、大変関心をもっている。
- ・幼稚園がなくなった地区では、幼・小・中の取り組みができない。一貫した実践を行うためには、就学前から引き継ぎをしていくことが大切。
- ・安全安心というワードは解釈があいまいになりがちである。意味が伝わる語句にした方がよい。
- ・登校しづらい子への支援がつながっていくよう希望したい。
- ・図書館司書とのつながりをもっともてるようにして、本への興味や読書の魅力を伝えられるようにしたい。
- ・先生が受け身な労働環境におかれることがないよう、「先生になりたい」と思えるような教職員研修を工夫してほしい。
- ・郷土教育をもっとすすめてほしい。

(7) 意見交換

- ・ふれあいフェスタ若松の、参加人数の把握はどうしていくか。→来場者にリストバンドを配布する。今年度は入れ替えは行わない。
- ・寺子屋「光ちゃん塾」の報告。2日間で18名の児童が参加し、新聞社の取材も受けた。光太夫顕彰会と地域づくり協議会が協力して、地域と学校がつながる取組として充実した内容となった。

5 教育委員会より

- ・8年ごとに新しくなる教育大綱や教育振興基本計画について、多くのご意見をいただき、地域の方の、教育に寄せていただく思いの強さを改めて感じている。
- ・地域の行事に、運営面で参加できる場をつくっていただいていることにも感謝したい。子どもが地域で活躍することで力をつけ、経験をいかせるよう、今後ぜひ計画段階から子どもの参加をお願いしたい。